

第3学年 英語科学習指導案

日時 平成17年9月28日(水)5校時

学級 3年B組(男子15名 女子18名 合計33名)

場所 3年B組教室

指導者 教諭 高橋 健 ALT Vanessa Smith

1 単元名 Unit 4 An American *Rakugo-ka* (NEW HORIZON English Course Book 3)

2 教材について

本単元では落語を取り上げ、落語での扇子の使い方の解説や、週末に英語の落語を聞きに行こうという対話を経て、日米の文化・ことばの使用法の違いをテーマとした英語での小話を展開する。言い方が分からないときなどに、様々な工夫をして意味を伝える活動も盛り込まれている。

また、本単元で扱う文法事項は、疑問詞 + 不定詞 (what to 動詞の原形、how to 動詞の原形)、It is + 形容詞 + (for....)to-構文である。

3 生徒の実態

教師の問いかけに対しては、一部の人が反応するという比較的遠慮がちな集団である。男女で英語の学力を比較すると女子に上位生徒が偏り、男子に不得意な生徒が見られる。(下記参照)しかし、一斉に音読練習をするような場合、男子の声はよく出るが、女子については不十分である。

1学期途中から、ペアでの活動を多用してみたところ、各ペアともパートナーを大事にし、意欲的に取り組む姿が見られており、もう少し継続しながらコミュニケーション能力をつけさせていきたい。

授業で扱う内容を家で予習して、授業用ノートに英文や英単語の視写、和訳などをしてくる約束になっており、ほとんどの生徒はやってきている。一方、以上のような予習・練習をやらない生徒や、一斉授業で流れについていくことのできない生徒も若干名おり、支援を工夫して行う必要がある。

文法事項については形、意味、用法についての定着を目指し、様々な音読方法を用いながら意欲的に活動できる生徒の姿をめざしたい。

【 [CRT] 2年時2月 】

観 点	関・意・態	表 現	理 解	知・理
男女差	16.4(女子・)	14.5(女子・)	7.2(女子・)	11.8(女子・)

4 単元の目標

- (1) 疑問詞 + 不定詞の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- (2) 不定詞を用いた It is + 形容詞 + (for....)to-構文 it...to 構文、it...for ~ to 構文の形・意味・用法を理解し、表現する。
- (3) 日米の文化の違いに目を向け、異文化理解を深めることができる。
- (4) 単元全体を通して、正しい発音、適切な抑揚で音読することができる。
- (5) 内容を正しく把握することができる。
- (6) 様々なコミュニケーションの方法を理解できる。

5 指導計画 Unit 4 An American *Rakugo-ka* (6 時間計画)

- (1) Starting Out 疑問詞 + 不定詞 2 時間
- (2) Dialog it...to 構文、it...for ~ to 構文 2 時間
- (3) Reading for Communication ジェスチャーを使おう 1 時間
- (4) Reading for Communication 工夫して意味を伝えよう 1 時間 (本時)

6 研究テーマとの関わり

(1) 「読むこと (内容把握)」について

音読前の内容把握については、チャンクごとに生徒に指名して答えてもらい、あまり時間をかけないように留意している。時折、チャンクごとに対訳を載せたシートを使うこともある。

音読後の内容把握については、True or False や Q and A 形式で行っている。True or False については聞き取りで、Q and A については問題を文字で見て答えるようにしている。

(2) 「読むこと (音読)」について

はじめに新出語句の練習をし、その後 CD や ALT との一斉の音読練習を行う。次にペアで様々な方法で音読練習 (シャドーイング・早読み) を繰り返す。最後に生徒同士による相互評価の他、1 時間に 2、3 人ずつ教師による音読の評価も行う。途中、個人にも読ませ、定着しているかどうかを確認しながら進める。

7 本時について

(1) 本時の学習目標

内容を正しく把握し、日本人の失敗談のエピソードを通して異文化について理解を深めることができる。(理解の能力)

正しい発音、適切な抑揚に気をつけて練習に取り組み、正しく音読できる。(関心・意欲・態度/表現の能力)

(2) 本時の具体の評価規準

	学習活動における 評価規準	具 体 の 評 価 規 準		C 努力を要する 生徒への手立て	評 価 方 法
		A 十分満足できる	B 概ね満足できる		
関 意 態	発音や抑揚に気をつけて音読しようとする。(読)	発音や抑揚に気をつけて意欲的に音読している。	発音や抑揚に気をつけて音読している。	声かけをし、意欲を引き出すよう努める。	机間巡視(観察) 発表 挙手
表 現	正しい発音、抑揚で音読することができる。(読)	発音、抑揚に留意して正しく音読することができる。	発音、抑揚に留意してほぼ正しく音読できる。	つまづきを早期に発見し、支援する。	机間巡視(観察) 発表
理 解	内容を正しく把握することができる。(読)	True or False 及び Q and A で 5 問全問正解である。	True or False 及び Q and A で 3 問以上正解である。	質問の意味などを確認する。	シート
知 ・ 理					

(4) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	支援上の留意点		評価の観点 資料等
			JTE	ALT	
導入 7分	1 あいさつ	Good afternoon.	Good afternoon.		シート 生徒による自作問題
	2 ウォーミングアップ	生徒同士で対話練習をする。	つまずきそうな生徒を支援する。		
	3 前時までの復習	疑問詞 + 不定詞 it...to 構文、it...for ~ to 構文などについて理解度を確認する。	つまずきそうな生徒を支援する。		
	4 課題の設定	本時の課題を確認する。 <u>習慣の違いを理解し、相手に伝わるように読もう。</u>		ショートスピーチを聞かせながら課題を提示する。	
展開 35分	5 課題の追究 (1) 概要把握	新出語句の練習をする。 本文の内容の概要を把握する。	短時間で概要を把握できるよう留意する。		【関・意・態】 観察 【理解の能力】 シート
	(2) 音読	本文の音読練習をする。 ・繰り返し ・英語 日本語 ・日本語 英語 ・シャドーイング ・早読み 等	テンポよく活動できるように、また定着しながら進める。	正しい発音ができているか確認しながら進める。	
終結 8分	(2) 内容理解の確認	True or False / Q and A に取り組む。	つまずきそうな生徒を支援する。	リスニング問題を読み上げる。	【表現の能力】 相互評価シート 【関・意・態】 観察、挙手
	6 評価	相互評価をする。 教師による評価を受ける。(2、3人) 全体的な評価を聞く。	うまく音読できた部分などを評価してあげる。		
	7 次時の予告	次の予習の指示を聞き、宿題(ワーク)の確認を行う。			
	8 あいさつ	Good bye.	Good bye.		

(5) 本時の評価

内容を正しく把握し、日本人の失敗談のエピソードを通して異文化について理解を深めることができたか。(理解の能力)

正しい発音、適切な抑揚に気をつけて練習に取り組み、正しく音読できたか。(関心・意欲・態度/表現の能力)